

短歌

著者	吉田，欣哉，[ヨシダ，キンヤ]
雑誌名	龍南
巻	2 1 2
ページ	5 4 - 5 4
発行年	1929-12-23
URL	http://hdl.handle.net/2298/6922

短

歌

吉田欣哉

わが窓ゆ飛び交ふ雲の見ゆれども病みてしあれば心浮かずも

ひげは伸び頬はおけたり馴れし兒の叔父なるわれを見忘れにけり

見舞ふ友來るたび毎に思ふかななどかくはわれ病みつきぬらん

わが學びしおふる頃に聞ゆかも霜月の夜のウドン賣りの聲

明けにけりまどあけ見れば靑空に眞綿の如き雲の飛ぶ交ふ

雪待の月もなかばは過ぎぬれば雀の聲もとみに寒けし